

令和5年度

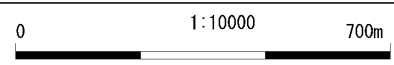
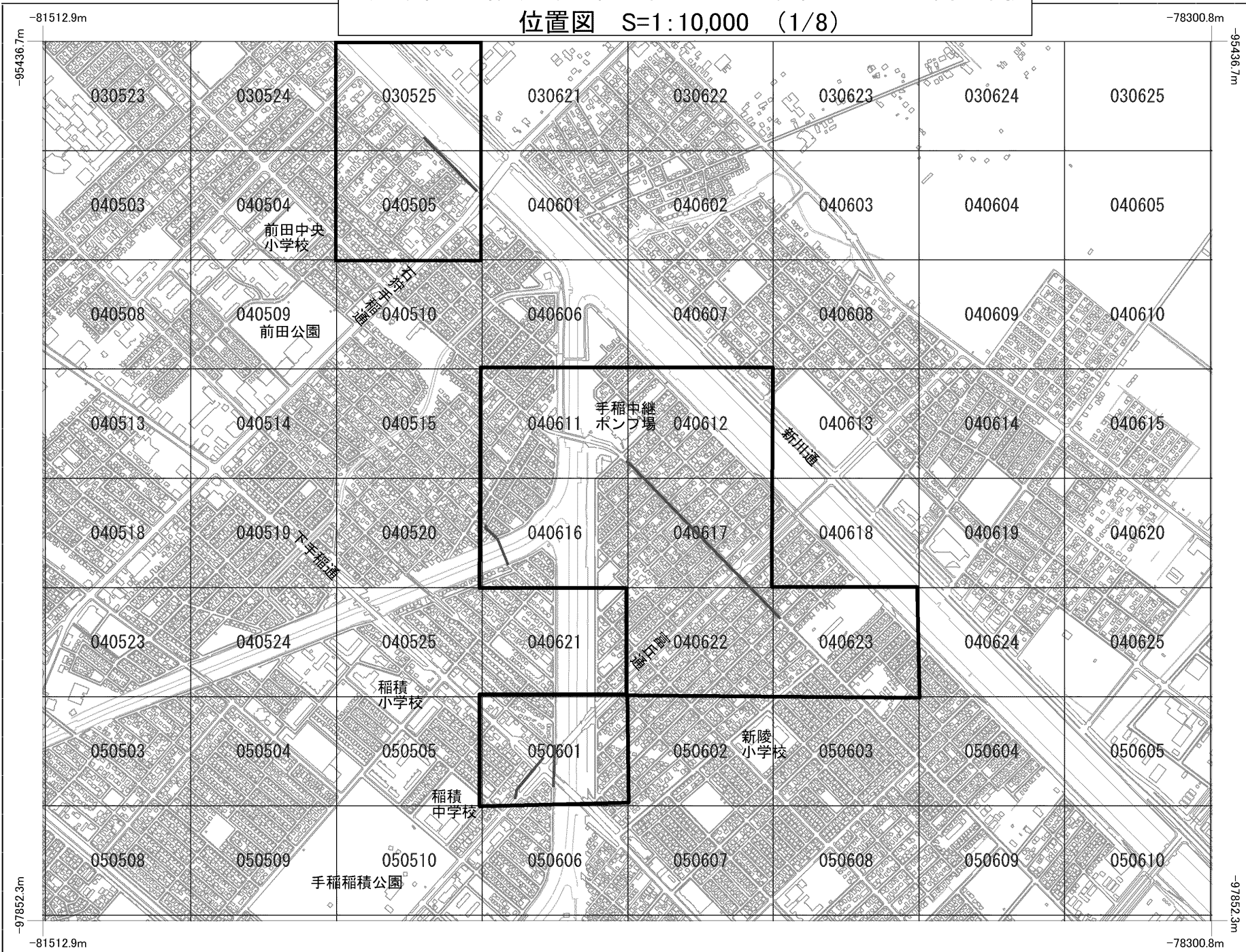
業務説明書

役務名：北発寒第16号線（発寒16条4丁目）ほか大口径管テレビカメラ調査業務

令和5年5月単価適用

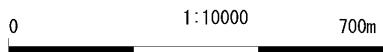
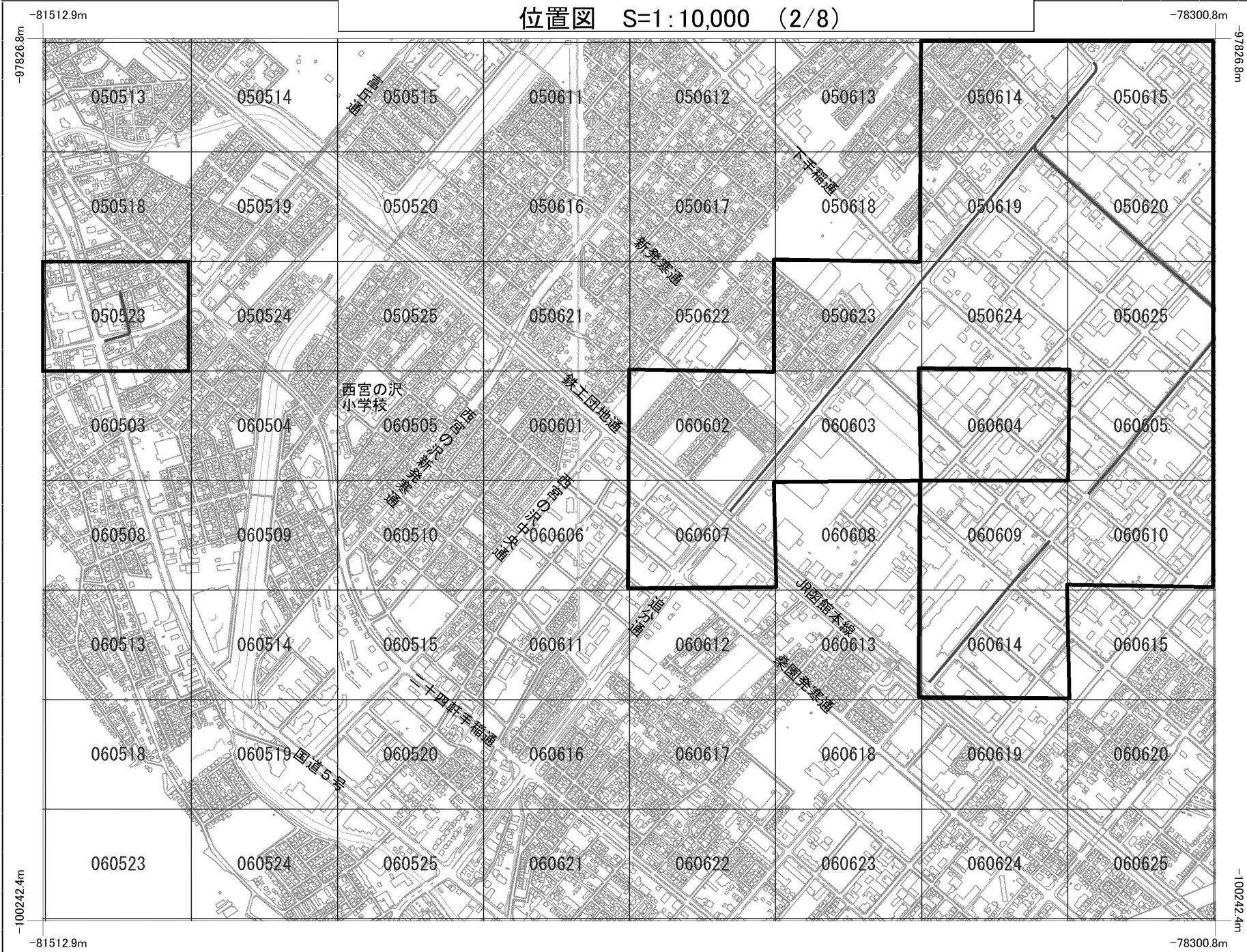
札幌市下水道河川局事業推進部

北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務
位置図 S=1:10,000 (1/8)

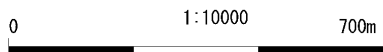
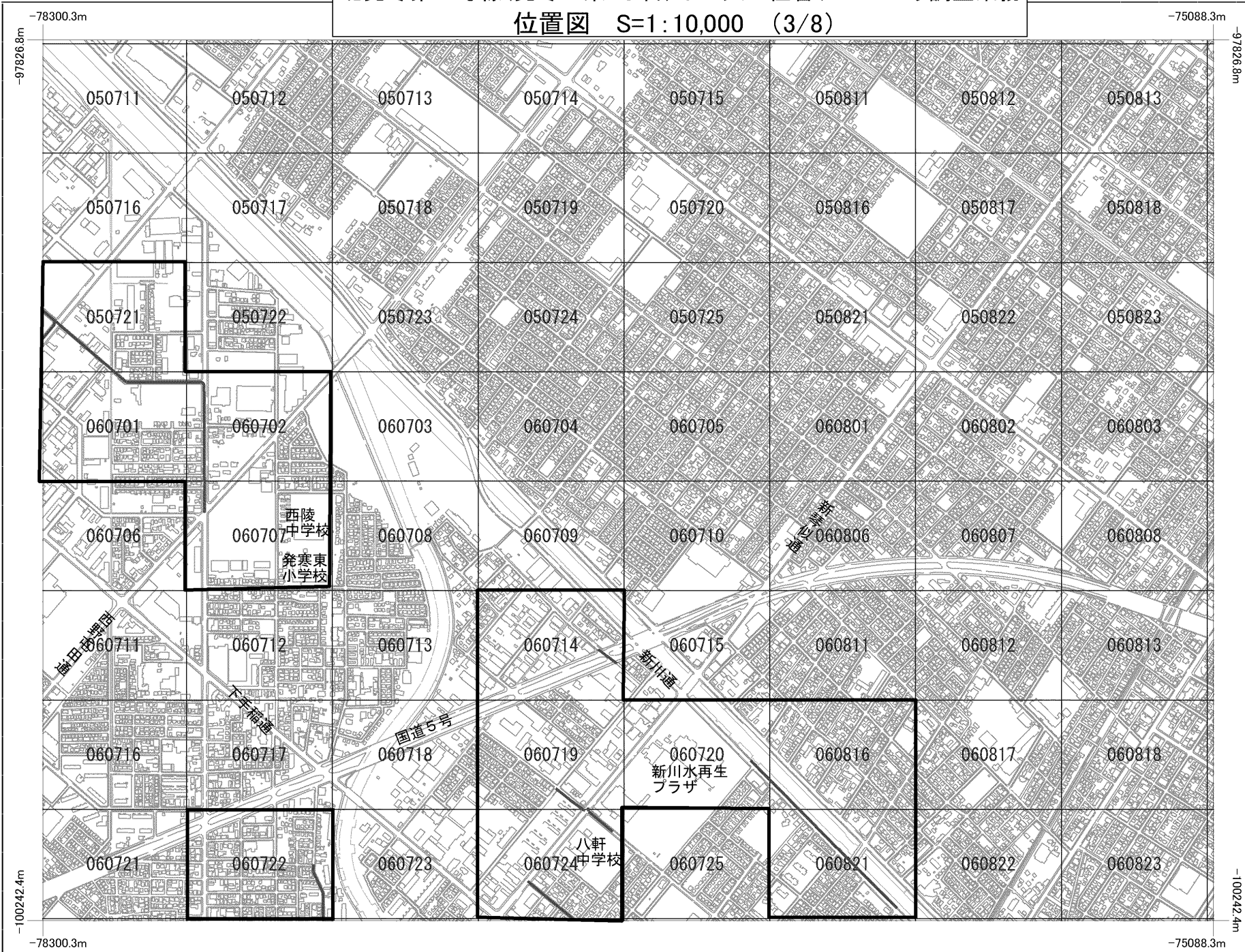


北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

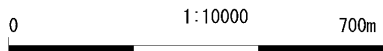
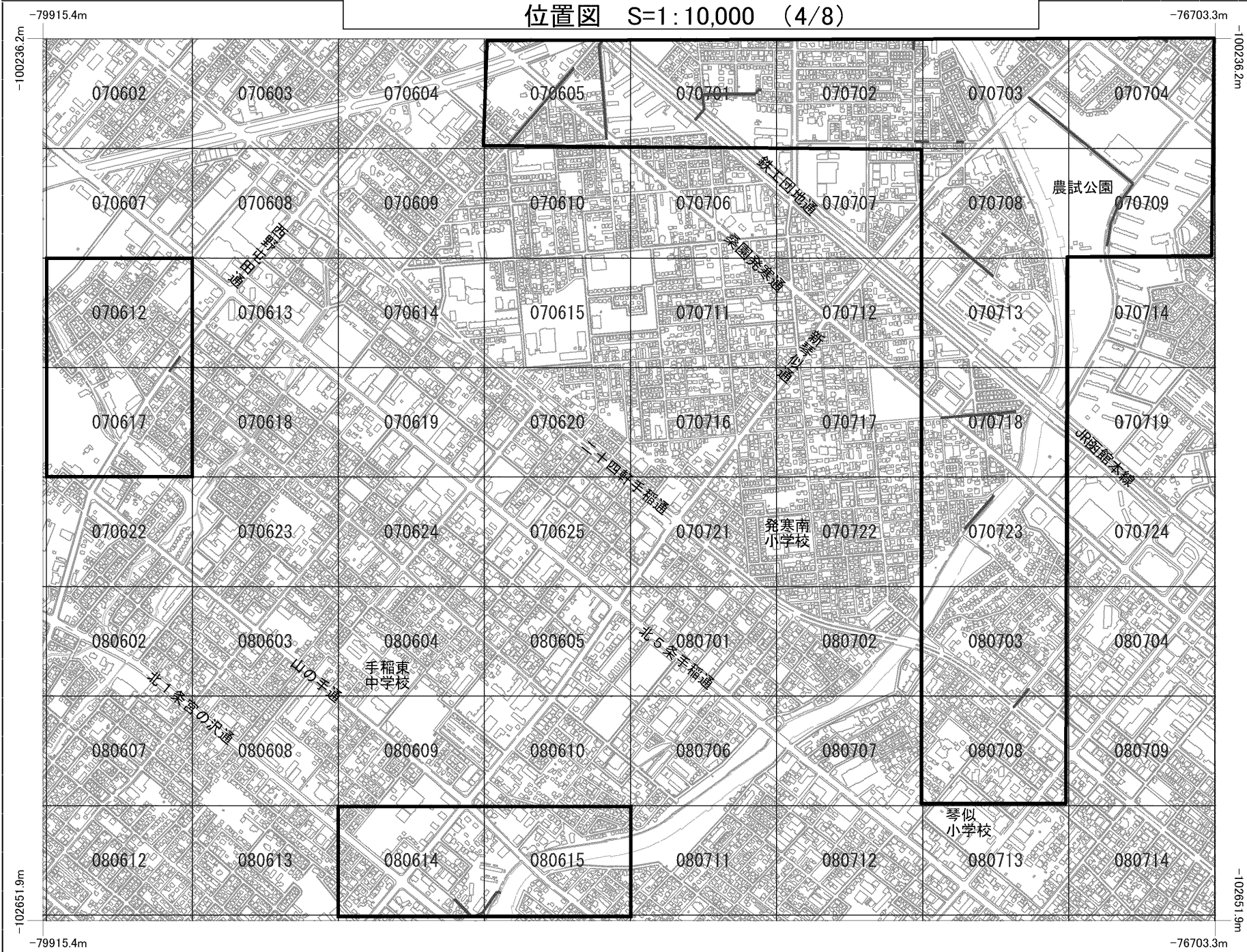
位置図 S=1:10,000 (2/8)



北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務
位置図 S=1:10,000 (3/8)

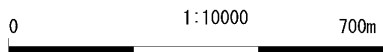
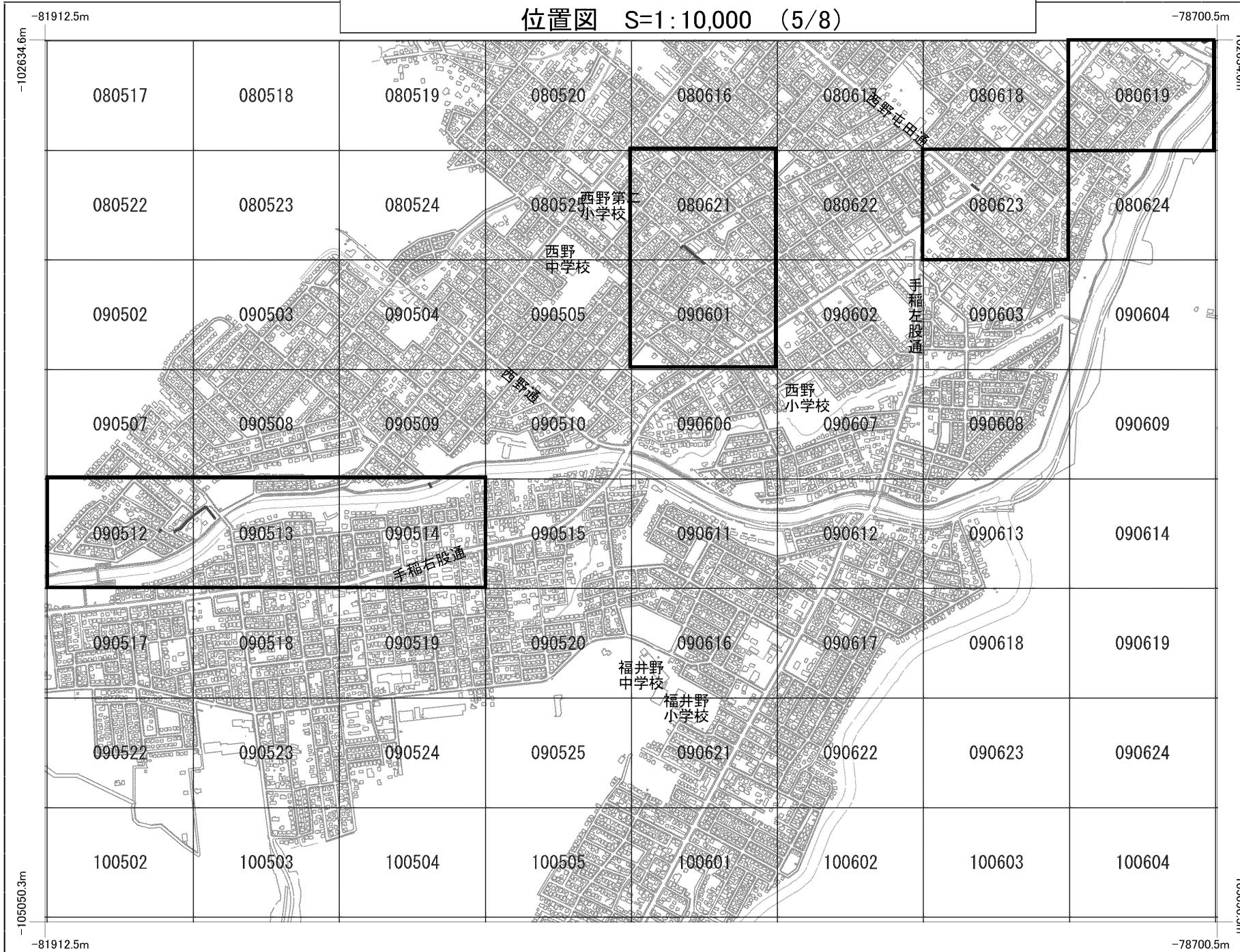


北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務
位置図 S=1:10,000 (4/8)



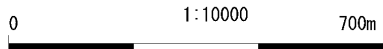
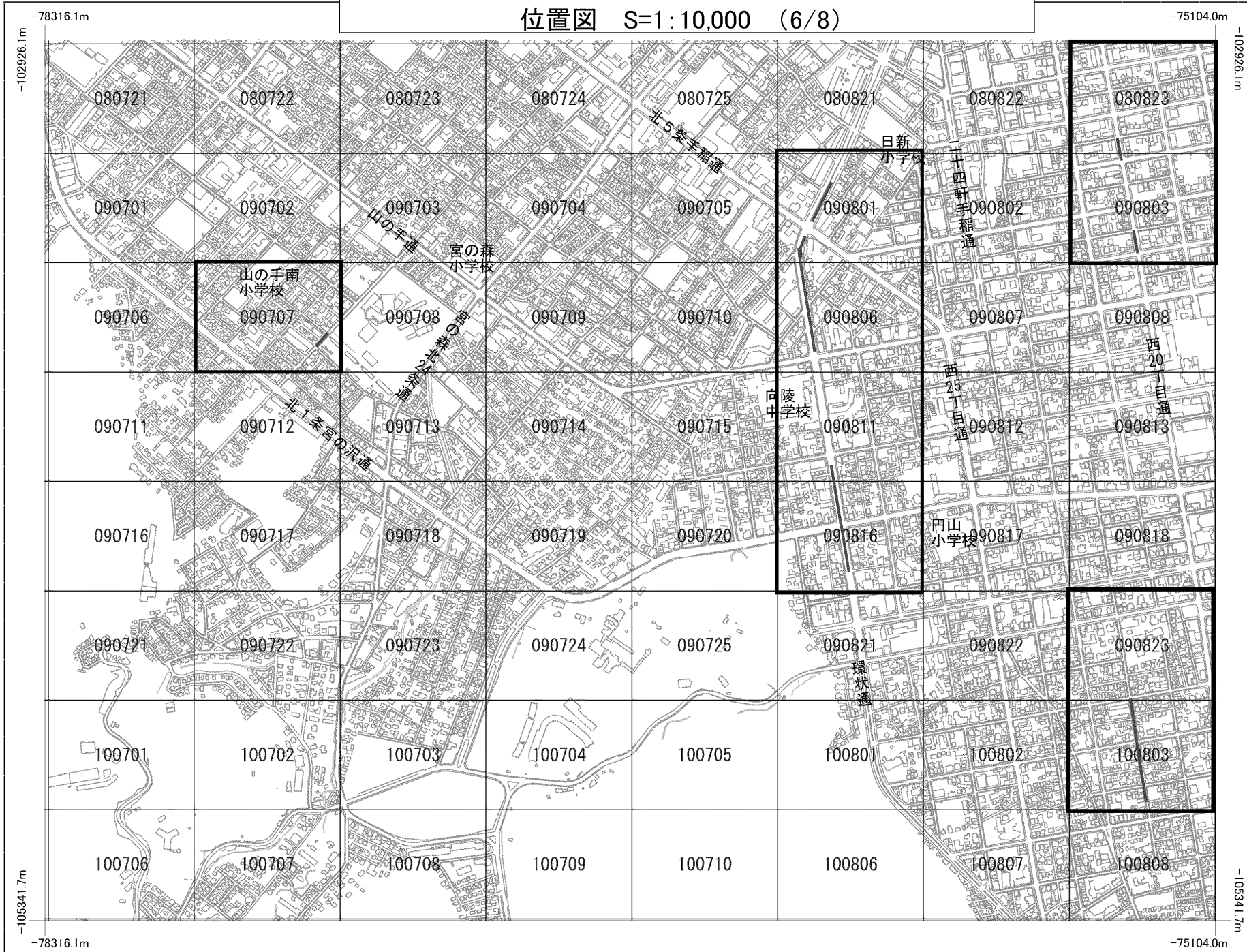
北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

位置図 S=1:10,000 (5/8)



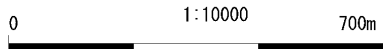
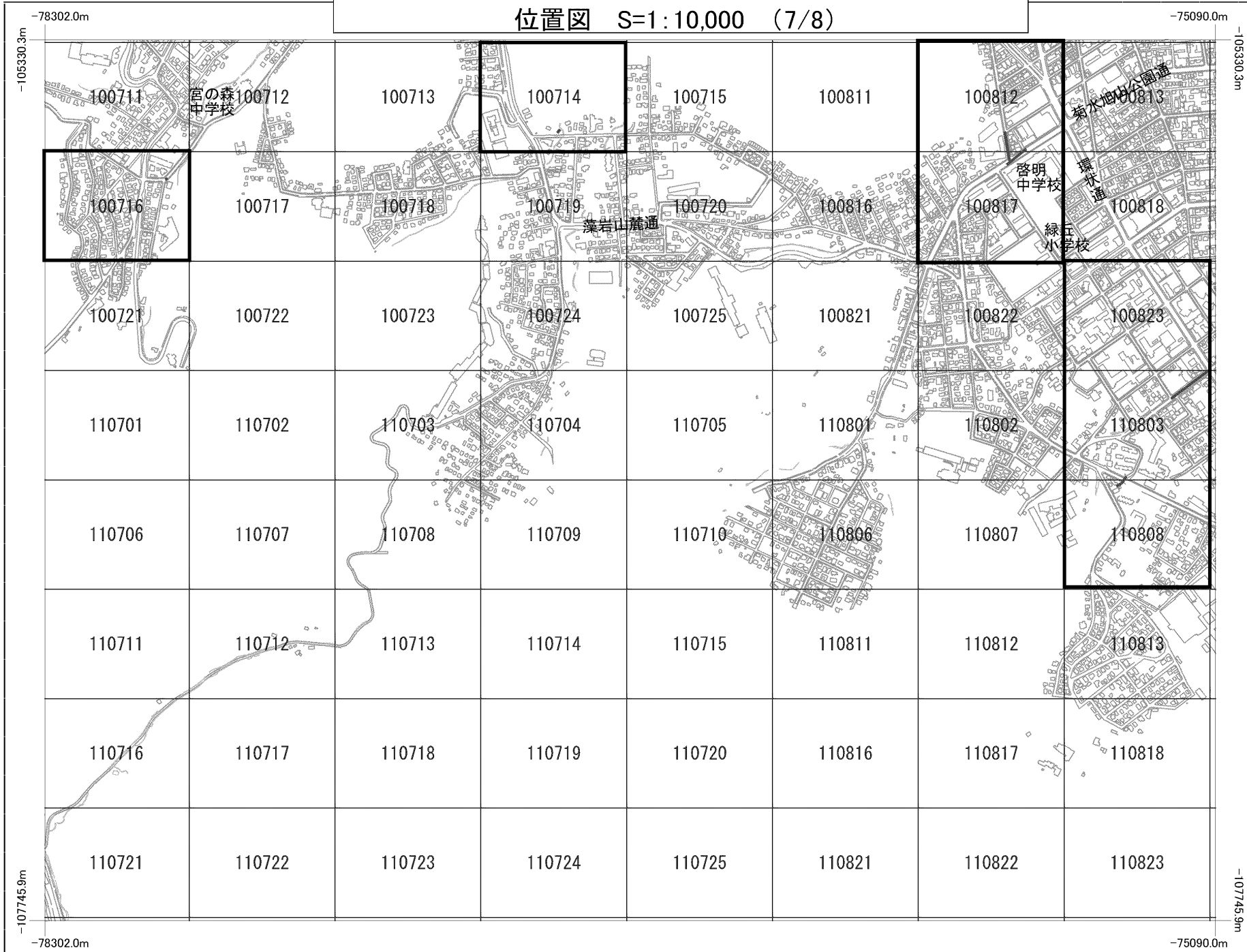
北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

位置図 S=1:10,000 (6/8)



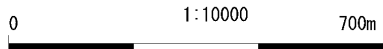
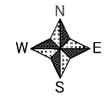
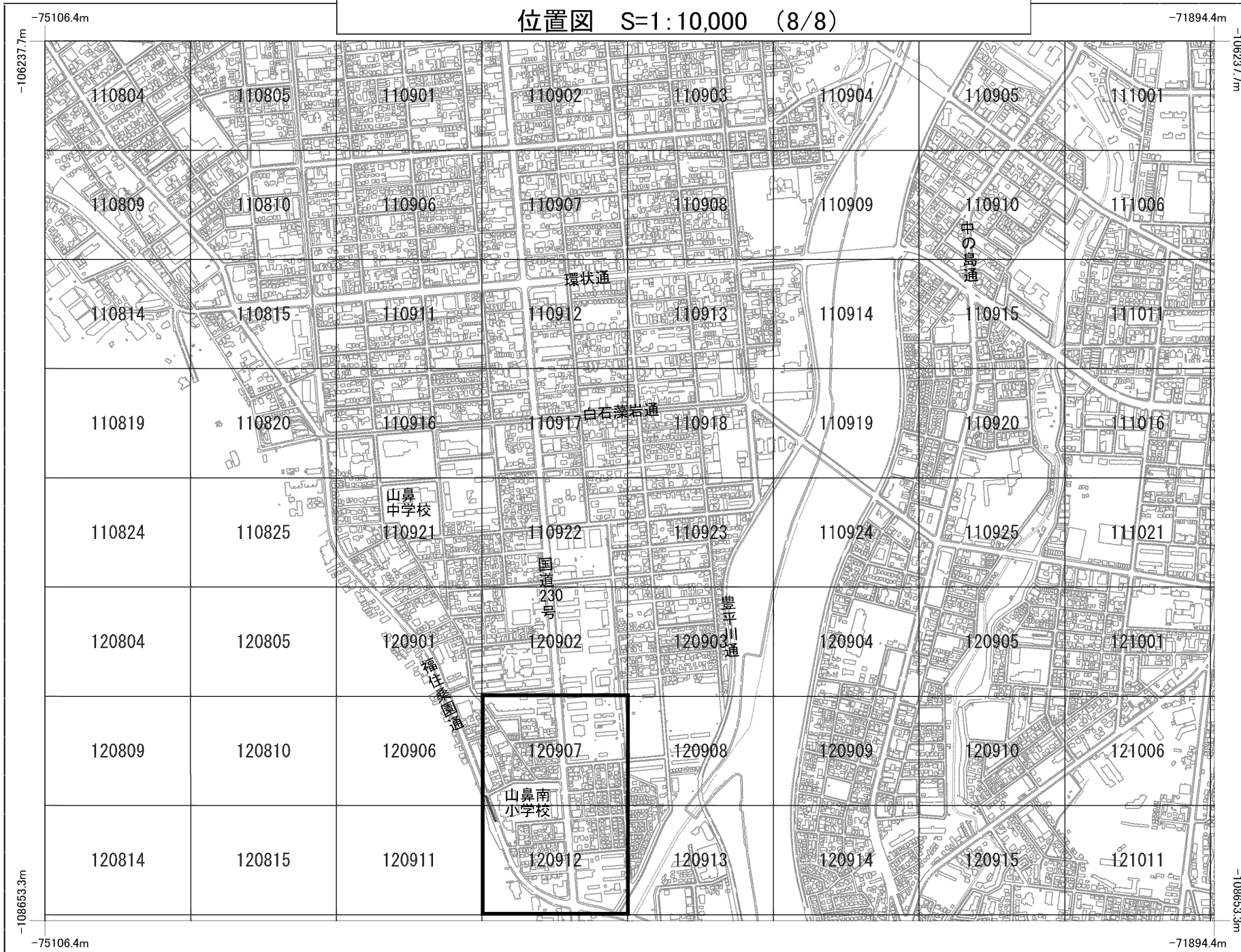
北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

位置図 S=1:10,000 (7/8)



北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

位置図 S=1:10,000 (8/8)



業 務 説 明 書

1, 業 務 委 託 理 由

2, 調 査 番 号

本業務の調査番号は、 6205 とする。

3, 業 務 箇 所

(1) 発寒16条4丁目 (2) 新発寒6条1丁目

(3) 発寒8条5丁目 (4) 北6条西28丁目

ほか

4, 業 務 概 要

総延長 L=11,667m

(1) 調査工 ϕ 800mm～ ϕ 4200mm L=11,667m (別表1のとおり)

(2) 修繕工 一 式

5, 履 行 期 間

契約締結日から令和6年1月10日までとする。

6, 仕 様 書

下水道管路保全業務仕様書【本管調査編】及び大口径管テレビカメラ調査業務仕様書【維持作業編】（共に下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開）、特記仕様書（下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務特記仕様書を含む）による。

特記仕様書

1, 交通誘導警備員について

交通誘導警備員は、下記に示す人員を見込んでいる。現地の状況、その他関係機関との協議により配置人員の追加等が生じた場合は、業務監督員と別途協議すること。

調査箇所	標準作業帯	工種	配置人員	誘導員種別
公安委員会 認定路線	昼間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員A・B
	夜間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員A・B
上記以外	昼間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員B
	夜間	管内調査	3人以上	交通誘導警備員B

※ 交通誘導警備員Aとは、交通誘導警備業務1級または2級検定合格の資格をもつ警備員で、交通誘導警備員Bとはそれ以外のものをいう。

※ 交通誘導警備員Aが指定された場合、調査箇所ごとに交通誘導警備業務1級または2級検定合格警備員を1人以上配置し、事前に交通誘導警備員としての資格を確認できる資料を業務計画書提出時に提示すること。なお、公安委員会認定路線の交通誘導（交通誘導警備員A）の確認は北海道警察本部のホームページによる。

2, 履行開始日について

本業務の履行開始日は、令和5年7月5日と想定して、履行期間の設定及び積算を行っているが、履行開始日が想定した日と異なっても設計変更の対象とはしない。

3, 産業廃棄物等の処理運搬等について

受託者は、下水道管内に作業上支障となる産業廃棄物等を発見した場合は業務監督員へ報告し、その処理運搬等の措置について協議を行うこと。

4, 本管調査、維持作業に係る留意事項について

1) 本業務の調査方法については、別表1に示すとおりとする。ただし、現場状況等により困難となった場合は、業務監督員と協議すること。

2) テレビカメラ調査は大口径管テレビカメラを用いて調査することとし、調査前の洗浄を省略する。管きよ洗浄を必要とする場合は、別途業務監督員と協議すること。

3) 潜行目視調査について、調査前の清掃を省略するが、管きよ内に土砂等の堆積があり清掃及び土砂処理の必要がある場合は、別途業務監督員と協議すること。

4) 潜行目視調査における記録写真の撮影は、おおむね10m当り3回（1回あたり直視1枚、側視2枚）を標準とする。

5) 突合せ継手と想定される箇所の本管調査方法について

突合せ継手（以下、「いんろう管」と言う。）と想定される箇所については、異常が確認された箇所及び3か所（最上流、最下流及び中間部）以上側視し、いんろう管であることが確認された場合は、その旨をテロップに表示するとともに、「TVカメラ調査記録表」内の備考欄に「いんろう管」と明記すること。

また、いんろう管の結果報告については以下のとおり、別表1に追記し提出すること。

- ・ 調査前：いんろう管の可能性が高いもの（○）⇒調査後：いんろう管であった（○）
- ・ 調査前：いんろう管の可能性が高いもの（○）⇒調査後：いんろう管ではない（-）
- ・ 調査前：いんろう管の可能性が低い（空欄）⇒調査後：いんろう管であった（●）
- ・ 調査前：いんろう管の可能性が低い（空欄）⇒調査後：いんろう管ではない（×）

6) 副管があることが確認された路線については、その旨をテロップ表示するとともに、「TVカメラ調査記録表」内の備考欄に明記すること。（記入例：「外部副管あり」）

7) 現地調査時に管内調査に際してさや管（管内インバート工）等の疑義がある場合は、その旨業務監督員に報告し、指示を受けること。

8) 維持作業（清掃工及び修繕工）の数量については、想定数量であり作業を確定するものではない。

なお、維持作業数量は、本管調査工の結果に基づき業務監督員と別途協議すること。

また、土砂除去工及び修繕工に記載するA、Bの内容については以下のとおりとする。

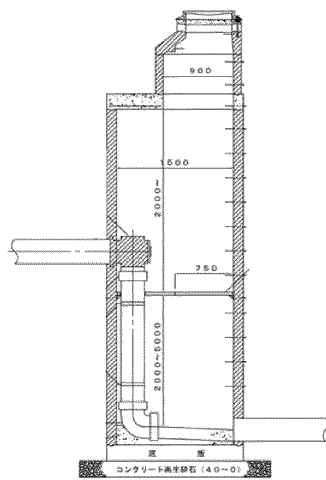
A：公安委員会認定路線での作業

B：公安委員会認定路線以外での作業

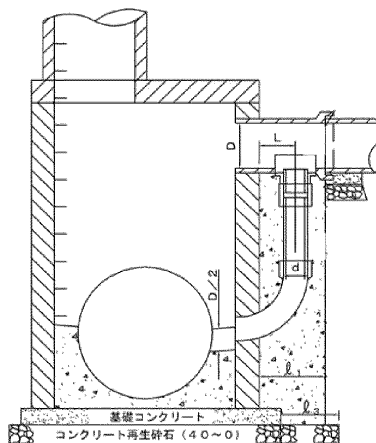
9) 維持作業が必要な異常箇所があった場合は、業務監督員に報告し、その指示に従って作業を行うこと。

10) 国道及び幹線道路に位置する路線において実施する維持作業については、令和5年11月末までに終了させること。なお、これにより難しい場合は、業務監督員と協議し決定すること。

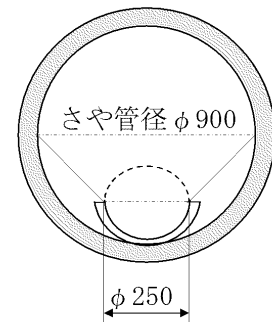
11) 前項に係る事項及びその他事項で疑義がある場合は、業務監督員と協議し決定すること。



(内部副管例)



(外部副管例)



(さや管 (管内インバート工) 例)

5, 本業務積算時に使用する書籍等について

- ・下水道施設維持管理積算要領－管路施設編－2020年版 公益社団法人 日本下水道協会
- ・下水道管路管理積算資料－2023－ 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
- ・土木工事標準積算基準書(共通編)令和4年度版 国土交通省
- ・下水道用設計標準歩掛表 令和4年度-第1巻 管路- 公益社団法人 日本下水道協会
- ・令和4年度版建設機械等損料表 北海道補正版 一般社団法人 日本建設機械施工協会

下水道河川局庁舎1階閲覧室で公開しているもの

- ・大口径管テレビカメラ調査業務積算単価一覧表【策定単価】
- ・札幌市下水道管路工事積算基準 令和4年度11月版

下水道管路清掃に係る廃棄物収集運搬業務特記仕様書

本業務の清掃工において、発生する汚泥等の収集・運搬に関しては、つぎのとおり適用する。

1, 収集・運搬

(1) 収集・運搬とは、当該清掃業務履行区間において発生する下水道汚泥(土砂・沈砂等)を発注者の指定する受入施設に運搬することをいう。

(2) 受託者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の第14条第1項の業務許可証の写しを契約書に添付すること。また、許可事項に変更があったときには、その旨を発注者に通知するとともに、変更後の許可証の写しを提出すること。

2, 搬出先

下水道汚泥等の搬出先は、下水道河川局手稲沈砂洗浄センター(札幌市手稲区手稲山口271番地5)とする。コンクリートくず等の汚泥運搬車で搬出できないものがあつた場合は、業務監督員と協議し、その指示に従うこと。なお、搬出先は、公清企業中沼産業廃棄物処理センター(札幌市東区中沼町45番地57)とする。

3, 積替保管

受託者は、下水道汚泥の積替保管を行ってはならない。

4, 収集・運搬に関わる注意事項

(1) 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、「産業廃棄物運搬車両であることの表示」と「許可証の写し等の書面の備え付け」を行うこと。

(2) 悪臭の発生防止に努めること。

(3) 他の廃棄物との混合を行ってはならない。

(4) 運搬物が漏出又は飛散しないよう留意し、下水道施設又は路面などが汚染した場合は、受託者の責任において速やかに清掃、洗浄を行うこと。

5, マニフェスト

産業廃棄物管理票制度に従い、発注者の発行する管理票(マニフェスト)に必要な事項を記入し、適切な処理を行うこと。

調査数量表

(別表 1)

業務名:北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	いんろう管	調査方法
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条4丁目	昼間	合流	円形管	2400	21.01	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条4丁目	昼間	合流	円形管	2400	49.25	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条4丁目	昼間	合流	円形管	2400	202.57	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	前田10条11丁目	昼間	合流	矩形管	2250	204.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	前田10条11丁目	昼間	合流	矩形管	2250	5.00	C		目視
点の施設	昭和50年	47年	前田7条6丁目	昼間	合流	矩形管	2800	79.87	C		目視
線の施設(重要)	昭和49年	48年	前田8条8丁目	昼間	合流	矩形管	2800	41.50	C		目視
線の施設(重要)	昭和49年	48年	前田8条8丁目	昼間	合流	矩形管	2800	9.20	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	新発寒7条10丁目	昼間	合流	矩形管	4200	70.50	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	新発寒7条10丁目	昼間	合流	矩形管	4200	112.29	C		目視
線の施設	昭和46年	51年	新発寒7条9丁目	昼間	合流	矩形管	4200	30.20	C		目視
線の施設	昭和46年	51年	新発寒7条9丁目	昼間	合流	矩形管	4200	62.50	C		目視
線の施設	昭和46年	51年	新発寒7条9丁目	昼間	合流	矩形管	4200	51.00	C		目視
線の施設	昭和46年	51年	新発寒7条9丁目	昼間	合流	矩形管	4200	5.40	C		目視
線の施設	昭和47年	50年	新発寒7条9丁目	昼間	合流	矩形管	4200	98.00	C		目視
線の施設	昭和47年	50年	新発寒7条8丁目	昼間	合流	矩形管	4200	130.50	C		目視
線の施設	昭和47年	50年	新発寒6条8丁目	昼間	合流	矩形管	4200	46.50	C		目視
線の施設	昭和47年	50年	新発寒7条7丁目	昼間	合流	矩形管	4200	3.20	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	富丘2条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	40.06	C		TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	富丘2条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	33.50	C		TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	富丘2条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	8.53	C		TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	富丘2条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	105.78	C		TV
線の施設(重要)	昭和50年	47年	前田5条5丁目	昼間	合流	円形管	2400	27.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	前田5条5丁目	昼間	合流	円形管	2400	74.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	前田6条5丁目	昼間	合流	円形管	2400	40.97	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	前田6条5丁目	昼間	合流	円形管	2200	114.78	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	前田6条5丁目	昼間	合流	矩形管	2800	5.09	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	円形管	800	13.67	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	円形管	800	1.80	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和48年	49年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	矩形管	4000	81.93	C		目視
線の施設(重要)	昭和48年	49年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	矩形管	4000	95.50	C		目視
線の施設(重要)	昭和48年	49年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	矩形管	4000	15.50	C		目視
線の施設(重要)	昭和48年	49年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	矩形管	4000	13.27	C		目視
線の施設(重要)	昭和48年	49年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	矩形管	4000	33.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和48年	49年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	矩形管	4000	56.50	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒5条1丁目	昼間	合流	円形管	2800	25.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒5条1丁目	昼間	合流	円形管	2800	127.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒5条1丁目	昼間	合流	円形管	2800	23.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒6条1丁目	昼間	合流	円形管	2800	70.96	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒5条1丁目	昼間	合流	円形管	2800	87.00	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条14丁目	昼間	合流	矩形管	3500	16.00	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条14丁目	昼間	合流	矩形管	3500	212.42	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条14丁目	昼間	合流	矩形管	3500	160.00	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条14丁目	昼間	合流	矩形管	3500	5.50	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条14丁目	昼間	合流	矩形管	3500	27.07	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒3条1丁目	昼間	合流	円形管	2400	14.50	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2600	130.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒5条1丁目	昼間	合流	円形管	2600	22.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒3条1丁目	昼間	合流	円形管	2400	173.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒5条1丁目	昼間	合流	円形管	2600	125.00	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条13丁目	昼間	合流	矩形管	3500	153.75	C		目視
線の施設	昭和50年	47年	発寒15条13丁目	昼間	合流	円形管	2600	175.76	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条13丁目	昼間	合流	矩形管	3500	4.20	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条13丁目	昼間	合流	矩形管	3500	147.41	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条13丁目	昼間	合流	矩形管	3500	5.20	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒16条12丁目	昼間	合流	円形管	2400	179.82	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒2条1丁目	昼間	合流	円形管	2200	165.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒1条1丁目	昼間	合流	円形管	2200	11.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒2条1丁目	昼間	合流	円形管	2400	20.10	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒3条1丁目	昼間	合流	円形管	2400	134.40	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	発寒14条13丁目	昼間	合流	円形管	2600	144.12	C		目視
線の施設	昭和50年	47年	発寒15条13丁目	昼間	合流	円形管	2600	143.00	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	新発寒1条1丁目	昼間	合流	円形管	2200	171.87	C		目視
線の施設	昭和49年	48年	発寒12条13丁目	昼間	合流	円形管	2300	156.08	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	発寒13条13丁目	昼間	合流	円形管	2600	152.02	C		目視

調査数量表

(別表 1)

業務名: 北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	いんろう管	調査方法
線の施設	昭和49年	48年	発寒10条13丁目	昼間	合流	円形管	2300	108.04	C		目視
線の施設	昭和49年	48年	発寒10条13丁目	昼間	合流	円形管	2300	52.47	C		目視
線の施設	昭和49年	48年	発寒10条13丁目	昼間	合流	円形管	2300	145.00	C		目視
線の施設	昭和49年	48年	発寒10条13丁目	昼間	合流	円形管	2300	52.53	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2200	38.60	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2200	40.60	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2200	63.60	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2400	99.26	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2400	19.60	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2200	13.87	C		目視
線の施設	昭和48年	49年	発寒15条4丁目	昼間	合流	円形管	2200	89.48	C		目視
線の施設(重要)	昭和52年	45年	八軒10条西11丁目	夜間	合流	円形管	1100	60.00	C		TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	八軒10条西11丁目	夜間	合流	円形管	1100	4.75	C		TV
線の施設	昭和50年	47年	八軒8条西9丁目	昼間	合流	円形管	1000	50.00	C		TV
線の施設(重要)	昭和50年	47年	八軒8条西9丁目	昼間	合流	円形管	1000	49.77	C		TV
線の施設	昭和47年	50年	発寒12条2丁目	昼間	合流	円形管	2400	63.11	C		目視
線の施設	昭和47年	50年	発寒12条2丁目	昼間	合流	円形管	2400	17.17	C		目視
線の施設(重要)	昭和50年	47年	八軒7条西8丁目	昼間	合流	円形管	800	61.06	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	八軒7条西8丁目	昼間	合流	円形管	800	51.39	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和51年	46年	八軒8条西8丁目	昼間	合流	円形管	900	86.00	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和51年	46年	八軒8条西8丁目	昼間	合流	円形管	900	11.85	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和44年	53年	八軒10条西6丁目	昼間	合流	円形管	2300	156.50	C		目視
線の施設(重要)	昭和45年	52年	八軒10条西4丁目	昼間	合流	円形管	2300	186.95	C		目視
線の施設(重要)	昭和45年	52年	八軒10条西3丁目	昼間	合流	円形管	2200	118.89	C		目視
線の施設(重要)	昭和45年	52年	八軒10条西3丁目	昼間	合流	円形管	2200	113.21	C		目視
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条9丁目	昼間	合流	円形管	1000	61.30	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒7条9丁目	昼間	合流	円形管	900	13.90	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条9丁目	昼間	合流	円形管	1100	24.80	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条9丁目	昼間	合流	円形管	1100	58.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条9丁目	昼間	合流	円形管	1100	49.50	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒9条9丁目	昼間	合流	円形管	1200	79.40	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	26.30	C		TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	58.70	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	19.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	28.70	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	90.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	38.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒8条5丁目	昼間	合流	円形管	900	11.90	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	西町南21丁目	昼間	合流	円形管	800	52.70	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒10条5丁目	昼間	合流	円形管	1500	41.00	C		TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒10条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	144.55	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒10条5丁目	昼間	合流	円形管	1650	38.18	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒10条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	11.00	C		TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒10条4丁目	昼間	合流	円形管	1650	12.00	C	○	TV
線の施設	昭和47年	50年	発寒12条2丁目	昼間	合流	円形管	2400	102.12	C		目視
線の施設	昭和50年	47年	発寒11条1丁目	昼間	合流	円形管	800	16.92	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒11条1丁目	昼間	合流	円形管	800	23.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	発寒11条1丁目	昼間	合流	円形管	800	22.30	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	八軒5条西8丁目	昼間	合流	円形管	900	78.00	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和48年	49年	八軒4条西6丁目	昼間	合流	円形管	900	2.00	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和48年	49年	八軒4条西6丁目	昼間	合流	円形管	900	2.00	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和48年	49年	八軒4条西6丁目	昼間	合流	円形管	900	2.00	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和48年	49年	八軒4条西6丁目	昼間	合流	円形管	900	41.57	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	八軒7条西7丁目	昼間	合流	円形管	800	63.50	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	八軒5条西6丁目	昼間	合流	円形管	900	125.50	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	八軒4条西5丁目	昼間	合流	円形管	800	120.00	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	八軒4条西5丁目	昼間	合流	円形管	800	63.18	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	八軒3条西5丁目	昼間	合流	円形管	800	63.00	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	八軒3条西5丁目	昼間	合流	円形管	800	63.00	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	発寒10条1丁目	昼間	合流	円形管	800	44.10	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	発寒10条1丁目	昼間	合流	円形管	1000	115.30	C	○	TV
線の施設	昭和48年	49年	発寒10条1丁目	昼間	合流	円形管	800	25.40	C	○	TV
線の施設	昭和47年	50年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2000	79.25	C	○	TV
線の施設	昭和47年	50年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2000	38.40	C	○	TV
線の施設	昭和47年	50年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2000	45.93	C	○	TV

調査数量表

(別表 1)

業務名:北発寒第16号線(発寒16条4丁目)ほか大口径管テレビカメラ調査業務

施設重要度	竣功年	経過年数	住所	作業区分	排除方式	管渠断面	管径	延長	管種	いんろう管	調査方法
線の施設	昭和46年	51年	発寒4条1丁目	昼間	合流	円形管	2400	44.04	C		目視
線の施設(重要)	昭和46年	51年	発寒2条1丁目	昼間	合流	円形管	1500	34.30	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和46年	51年	発寒2条1丁目	昼間	合流	円形管	1500	90.00	C	○	TV
線の施設	昭和49年	48年	西野3条2丁目	昼間	雨水	円形管	1500	101.31	C	○	TV
線の施設	昭和49年	48年	西野3条2丁目	昼間	雨水	円形管	1500	628.98	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和49年	48年	西野3条1丁目	昼間	雨水	円形管	1500	15.07	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野7条5丁目	昼間	雨水	円形管	900	34.90	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野8条5丁目	昼間	雨水	円形管	800	12.32	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野7条5丁目	昼間	雨水	円形管	900	42.95	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和50年	47年	西野5条3丁目	昼間	雨水	円形管	1650	28.98	C	○	TV
線の施設	昭和43年	54年	琴似3条4丁目	昼間	合流	円形管	800	63.03	C	○	TV
線の施設	平成11年	23年	琴似3条4丁目	昼間	合流	円形管	800	6.62	C		TV
線の施設	昭和50年	47年	西野13条8丁目	昼間	雨水	円形管	800	35.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野13条8丁目	昼間	雨水	円形管	800	24.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野13条8丁目	昼間	雨水	円形管	800	23.00	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野14条8丁目	昼間	雨水	円形管	800	11.29	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和50年	47年	西野11条8丁目	昼間	雨水	円形管	1000	43.60	C	○	TV
線の施設	昭和50年	47年	西野11条8丁目	昼間	雨水	円形管	1000	30.40	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和52年	45年	西野10条7丁目	昼間	雨水	円形管	1350	25.40	C	○	TV
線の施設	昭和45年	52年	宮の森4条9丁目	昼間	合流	円形管	800	49.76	C	○	TV
点的施設	昭和59年	38年	北7条西27丁目	昼間	汚水	円形管	800	120.00	C	○	TV
点的施設	昭和59年	38年	宮の森1条1丁目	昼間	汚水	円形管	800	35.00	C	○	TV
点的施設	昭和59年	38年	北6条西28丁目	昼間	汚水	円形管	800	20.00	C	○	TV
点的施設	昭和59年	38年	北6条西28丁目	昼間	雨水	円形管	1650	27.83	C	○	TV
点的施設	昭和40年	57年	北6条西28丁目	昼間	汚水	円形管	800	11.00	C	○	TV
線の施設	昭和28年	69年	北8条西20丁目	昼間	合流	円形管	1350	64.51	C	○	TV
線の施設	昭和29年	68年	北6条西20丁目	昼間	合流	円形管	1350	62.74	C	○	TV
点的施設	昭和40年	57年	北6条西28丁目	昼間	合流	円形管	1650	86.34	C	○	TV
点的施設	昭和40年	57年	北6条西28丁目	昼間	合流	円形管	1650	71.80	C	○	TV
点的施設	昭和40年	57年	北5条西28丁目	昼間	合流	円形管	1650	64.33	C	○	TV
点的施設	昭和40年	57年	北6条西28丁目	昼間	合流	円形管	1650	35.52	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和40年	57年	北1条西28丁目	昼間	合流	円形管	1650	160.24	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和40年	57年	北1条西28丁目	昼間	合流	円形管	1650	13.82	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和41年	56年	北1条西28丁目	昼間	合流	円形管	800	61.92	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和41年	56年	大通西28丁目	昼間	合流	円形管	800	61.92	C	○	TV
点的施設	昭和52年	45年	宮ヶ丘	昼間	雨水	円形管	800	11.73	C	○	TV
点的施設	昭和51年	46年	宮の森1条16丁目	昼間	雨水	円形管	800	8.44	C	○	TV
線の施設	昭和31年	66年	南4条西22丁目	昼間	合流	円形管	900	9.77	C	○	TV
線の施設	昭和31年	66年	南4条西22丁目	昼間	合流	円形管	900	45.84	C	○	TV
線の施設	昭和31年	66年	南4条西22丁目	昼間	合流	円形管	900	63.40	C	○	TV
線の施設	昭和31年	66年	南5条西22丁目	昼間	合流	円形管	900	75.59	C	○	TV
線の施設	昭和31年	66年	南5条西22丁目	昼間	合流	円形管	900	46.61	C	○	TV
線の施設	昭和31年	66年	南5条西22丁目	昼間	合流	円形管	900	47.46	C	○	TV
点的施設	昭和40年	57年	南8条西26丁目	昼間	合流	円形管	1350	80.54	C	○	TV
点的施設	昭和61年	36年	南9条西22丁目	昼間	合流	円形管	1650	70.35	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和47年	50年	伏見2丁目	昼間	合流	円形管	900	23.07	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和47年	50年	伏見2丁目	昼間	合流	円形管	900	16.20	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和45年	52年	南29条西12丁目	昼間	合流	円形管	900	79.20	C		TV
線の施設(重要)	昭和38年	59年	南13条西23丁目	昼間	合流	円形管	1000	117.38	C	○	TV
線の施設(重要)	昭和38年	59年	南13条西23丁目	昼間	合流	円形管	1000	14.49	C	○	TV

昼間:昼間作業とは、AM9時～PM5時の作業を標準とする。

夜間:夜間作業とは、PM9時～AM5時の作業を標準とする。

管種のCはコンクリート管、Vは塩ビ管。いんろう管に○がある管渠は、いんろう継手管の可能性が高い。

調査方法の目視は潜行目視調査、TVはテレビカメラ調査。